

平成25年度 学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策 世田谷区立富士中学校

世田谷区立富士中学校 校長 小松 昌之
学校関係者評価委員会 委員長 渡邊 真弓

平成20年度より学校関係者評価というシステムになり、今年で6年目になりました。保護者・生徒・地域の方からいただいた「関係者アンケート調査の集計結果」と教職員による「自己評価報告書」及び「学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策」は例年どおり3月中に富士中のホームページ上で公開いたします。過去の報告もあわせてご覧いただき、今までされた数々の提言と回答等も確認していただければ幸いです。ここでは次年度に生かせるような包括的な報告と提言をさせていただきます。どうぞ、よくお目通しいただき、富士中の更なる発展のためにご支援・ご協力をお願いいたします。

学校関係者評価委員会の報告 (回答を求めた項目)

学校の改善策

—学校関係者評価アンケートと自己評価報告書の分析の中から—

I 重点目標について

富士中では、今年度の重点目標として「教育の質の向上を図り確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりを通して、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。昨年度クリアしている目標に対して更に高い目標を定め、努力している様子が見受けられるのは大変良いことだと思います。しかし、高いレベルに設定してある数値目標をいかにクリアしていくかが課題として挙げられます。結果に結び付けるための更なる努力が必要です。

今年度は「分からない」という項目の数値を減らすための具体的な対策に取り組み、半数以上の項目を減らしたことは一定の評価に値します。

II 地域とともに子どもを育てる教育について

地域運営学校に指定されて5年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動を通して、地域との交流を図っています。また「富士の学び舎」の教育活動は、小学校5校と富士中とで作られた世田谷9年教育にのっとり、小中連携も計画的に行われています。そ

学校評価を踏まえて設定した重点目標及び数値目標において課題を残しました。特に、「思いやりの心と地域への感謝の心を育成するために、生徒の地域活動、ボランティア活動への年3回以上の参加率」を向上させるために、地域活動、ボランティア活動に対する生徒の理解度の高さを実践に繋げるための方策の工夫に取り組みます。

保護者や地域の方々が、教育活動への理解を一層深めていただくとともに、協力や支援を受けながら、教育活動の更なる充実に向けた取組の工夫と改善に努めます。

地域運営学校として、保護者・地域の方々の学校教育に対する声を反映させながら学校運営を推進します。また、義務教育の9年間で育てたい力・資質の実現に向けた取組を充実させ発展させるために、地域の人材及び教育力活用の工夫に努めます。併せて、学校協議会や地区委員会、諸便りなどを通じて、保護者・地域の方々に学校への理解をより一層深め

<p>これらの活動は継続され、安定しています。引き続き、地域とともに「豊かな人間性を育む」ことを目指した取り組みに期待します。</p>	<p>ていただき、ご支援とご協力をいただきながら教育活動を推進します。</p>
<p>III 未来を担う子供を育てる教育について</p> <p>富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、国語・数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、全教員による授業研究・指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ、区土曜講習会・朝授業(3年生)等も定着しています。また、セーフティ一教室においては、命の大切さを学びました。重点目標の一つである「確かな学力を育成する」ことや「豊かな人間性を育む」こと、これらの取り組みは高評価のアンケート結果が出ています。今後も維持に努めてください。</p>	<p>本校では、「教育の質の向上」と「教育の量の確保」に努め、具現化に向けた様々な取組は本校の特色になっています。今後も、個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、基礎・基本や自ら学び考える力を身に付けさせるための指導を充実させます。生徒にとってよりよい学校生活を送ることができるよう、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、より良い人間関係の構築等を目標とした指導に今後も組織的に取り組みます。</p>
<p>IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて</p> <p>学校経営方針に示された目標が、教職員はじめ保護者・地域に浸透され、学校運営の評価が高いのはなによりです。ゲストティーチャーの講義も毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせない刺激を与えてくれています。スクールカウンセラーの認知度も安定しています。今年度は昨年度の授業日数や、行事変更等からくる様々な項目のマイナス数値が一変し、ほとんどのアンケート結果がプラスに転じました。引き続き今の状態が保持できるよう、また、今後の取り組みにもたゆまぬ努力をお願いします。</p>	<p>学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組みます。生徒が自己の将来に見通しを持ちながら学校生活に臨み、自己実現に向けて意欲的に取り組むことができるようにするための指導の工夫として、ゲストティーチャーを活用します。また、個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、スクールカウンセラーや関係機関と連携した指導をより一層充実させます。</p>
<p>V 教育環境の整備について</p> <p>今年度は、長年の課題であった校舎西側トイレの改修工事が終わりました。老朽化した冷水器5機のうち4機が新しくなりました。教育環境がかなり充実してきたことに感謝いたします。今後は未設置の教室へのエアコン設置、体育館棟トイレの改修や図書室の照明等の環境改善をご検討ください。</p>	<p>校舎西側トイレの改修、冷水器の入れ替えにあたりましては、区や保護者の方々のご理解の下、整備を進め充実を図ることができました。今後も教育環境の整備に向けた情報を家庭・地域の方々と共有し、区との連携を図りながら継続的な改善に取り組みます。</p>

<p>VII 学校生活全般について</p> <p>昨年度は、行事が余儀なく変更されたこともあり、アンケートのマイナス数値が多岐にわたりました。しかし、開校記念日を授業日としたり、合唱コンクールを以前のような時期に戻したり等、時間のやりくりを工夫されています。その結果、全体的にプラスの数値に転換されました。質の高い教育活動を追求する日頃の努力に感謝いたします。より生徒達の意欲を引き出し、富士中生全員の幸せな未来を応援していく姿勢をこれからも続けてほしいと思います</p>	<p>教育計画に沿った教育活動を円滑に進めるためには、時数確保が常に課題となり、時数確保のために工夫や変化が求められます。これからも、生徒・保護者・地域の方々に教育計画の内容を正しく認識していただくための説明を継続し、理解を得ながら教育活動を進めるように配慮いたします。</p> <p>一人ひとりの生徒が、教育活動の様々な場面で自己のもつ能力を十分に発揮しながら成長していくように、個に応じたきめ細やかな指導を組織的に実践するための取組を継続させます。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

一学校関係者評価委員会の総合所見一

VII 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方への日常のご努力に感謝いたします。

- 教職員による自己評価報告書を見ると、内容も具体的です。学校が地域の学校として意欲的に取り組んでいることが分かります。
- 定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応などの保護者への情報提供、校内現況や衛生面など、学校の安全性に対しての数値が全体的にプラスの評価に上がりました。今後も施設の安全性や指導、地域との連携、そして災害への備え、それらの拠点となる学校の役割に期待します。
- 生徒達は富士中が好きで誇りをもっており、楽しく学校生活を送っていることが分かりますが、何のために勉強するのか分からなくなる悩みの多い年頃でもあります。今年度は、学校生活に関する項目の数値が全体的に上がりましたが、生徒達にとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただきとともに、生徒達と向き合う時間の確保にもご尽力をお願いしたいと思います。また、各ご家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。
- 保護者による下校当番は、今年で14年になりました。わが子だけではなく、地域の子どもたちの様子を知る良い機会となりました。この素晴らしい取り組みを、ぜひ継続していただきたいと思います。
- 今年度も、夏の部活動合宿は長野県で無事実施することができました。顧問、外部指導員、看護師をはじめ、支えてくださいました関係者の皆様に感謝いたします。
- 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続きご検討ください。

学校関係者評価委員会	委員長	渡邊 真弓
	委 員	黒木 美枝
	委 員	須藤 啓子
	委 員	長塚 千佐子
	委 員	横光 香里
	委 員	矢野 明子
	委 員	丸田 大

